

令和7年度 アジア地方行政セミナー in インドネシア 実施概要

- ◆ 2025年度(令和7年度)のアジア地方行政セミナーは、インドネシア内務省と共催で、ティト内務大臣出席のもと、ジャカルタにて開催しました。今回のセミナーでは「地域経済の活性化:地方財政と地方公営企業の役割」をテーマとし、日本とインドネシアそれぞれから事例発表を行いました。
- ◆ 日本からは、北海道白糠町のふるさと納税の取組、北九州市の水道事業の取組について、インドネシアからは、バタム市の地域財政の強化施策、インドネシア地方公営企業の現状と課題について発表が行われ、参加したインドネシアの地方自治体職員との意見交換が行われました

実施日	令和7年9月25日(木)	
参加者	1. 日本側：20名 総務省大臣官房総括審議官、北海道白糠町長、 北九州市上下水道局配水管理課長、京都府国際課主事 他 来賓：在インドネシア日本大使館総括公使、JICA インドネシア事務所長 (一財)自治体国際化協会シンガポール事務所長 2. インドネシア側：約160名 内務省：内務大臣、事務次官、地方財政総局長、地方行政総局公営企業局長 他 自治体：バタム市長、地方自治体職員 (約140名)	
テーマ	地域経済の活性化:地方財政と地方公営企業の役割	
■基調講演		
	『日本の地方行財政について』	総務省大臣官房総括審議官 田中 聖也
	『インドネシアの地方税財政について』	インドネシア内務省地方財政総局長代理 ホラス・パンジャイタン
■事例発表		
1	『ふるさと納税について』	北海道白糠町長 棚野 孝夫
	『地域財政強化戦略』	リアウ州バタム市長 アムサカル・アフマド
2	『北九州市における水道事業の取り組み』	北九州市上下水道局水道部 配水管理課長 石井 秀雄
	『地域経済成長を促進する地方自治体の役割』	インドネシア内務省地方行政総局公営企業局長 ユディア・ラムリ
■特別セッション:日本とインドネシアの姉妹都市連携		
	『ジョグジャカルタ特別区と京都府の関係について』	京都府国際課主事 四方 明日香
	『育まれる絆:京都とジョグジャカルタの友情 40 年の歩み』	ジョグジャカルタ特別区国際・投資誘致局 チャトゥル・チャヒヤ・ヌルセタ

開会挨拶



◆ 総務省の田中総括審議官から、インドネシア内務省との共催が4回目となる本セミナーにおいて、これまでの両国の地方行政分野における交流をさらに深めていけることを期待している旨挨拶を行いました。

◆ インドネシア内務省 ティト内務大臣から、インドネシアの地方経済を活性化し、地方を発展させるため、本セミナーでの日本の総務省との学び合いが貴重な機会である旨の挨拶がありました。

来賓挨拶



◆ 在インドネシア日本大使館高林総括公使から、今回のセミナーが両国の今後の地方自治分野の更なる協力と発展、ひいては、二国間関係の一層の発展に繋がることを祈念する旨のご挨拶を頂きました。

基調講演



- ◆ 田中聖也総務省大臣官房総括審議官から、日本の行財政制度の概略と、今回の事例発表のテーマとなる日本の地方公営企業制度及びふるさと納税制度について講演行われました。



- ◆ ホラス・パンジャイタン インドネシア内務省地方財政総局長代理から、インドネシアの地方財政自立のための基盤を強化する取組について講演行われました。

事例発表(地方経済振興)



- ◆ 北海道白糠町の棚野孝夫町長から、長年の行財政改革に取り組んだ後、食の「しらぬかブランドの確立」を目指し、インターネット販売の経験とふるさと納税制度を上手く活用して地域産業の振興に成功した町の取組について発表が行われました。



- ◆ バタム市のアムサカル・アフマド市長から、投資と観光で発展を続けるバタム市における、地方税収の最適化、公営企業等との連携、民間セクターの役割強化、財政透明性の向上などの強化戦略について発表が行われました。

事例発表(地方公営企業)



- ◆ 北九州市上下水道局配水管理課の石井秀雄課長から、北九州市の公害克服の歴史、広域化などによる水道事業の経営改革の取組、世界の水環境と地域経済の活性化に貢献する官民連携の海外水道事業の取組について発表が行われました。

- ◆ インドネシア内務省地方行政総局公営企業局のユディア・ラムリ局長から、インドネシアの地方公営企業の現状と課題、地方公営企業の育成と監督における内務省の役割強化への取組について発表が行われました。

特別セッション(姉妹都市連携)



- ◆ 京都府国際課の四方明日香主事から、インドネシアの伝統染織生地バティックと京都の丹後ちりめん等の染織産業における連携や文化財保護分野での交流の状況について発表が行われました。

- ◆ ジョグジャカルタ特別区国際・投資誘致局のチャトゥル・チャヒャ・ヌルセタ氏から、1985年から40年にわたる京都府との交流の歴史について発表が行われました。